

進路だより

vol.06

ライフキャリアとワークキャリア

「進路」や「キャリア教育」と聞くと、どうしても卒業後の働く場所をイメージしてしまうのではないのでしょうか？もちろん、卒業後の働く場所について考えることは、将来の生活のためにはとても大切なことです。しかし、働くことは生活の一部であり、ご飯を食べたりお風呂に入ったりするような毎日の安心できる暮らしや、ゲームやカラオケといった自分の好きなことに没頭して楽しむことも、人が幸せに生きるためにとても大切なことです。そのため、将来のことを考える時には、「働くこと」だけではなく「暮らすこと」と「楽しむこと」を一緒に考え、「どのように生きていくことが幸せか」という視点をもつことが大切だと考えます。

本校では、「暮らす」「働く」「楽しむ」の3つの視点で私の応援計画を作成しています。働くことに重きを置いた「ワークキャリア」と、地域で暮らしたり、生活を楽しんだりすることをより重視した「ライフキャリア」の両方のバランスを大切にした進路指導やキャリア教育を進めることで、子ども一人一人の生活の質（QOL）を高めていくことを大切にしています。

現在、本校で取り組んでいる生涯学習力を高めるための教育は、子どもたちが幸せに生きていく方法を追求する教育だと考えます。在学中に様々な「ヒト・モノ・コト」と関わり、人とのつながりを築いたり、自分の好きなものを見付けたり、楽しいことに触れたりすることで、子どもたちのQOLが高まっていくことが期待できます。それは子どもたちだけでなく、子どもたちのそばにいる私たち大人にとっても、とても大切なことではないのでしょうか？

（進路指導部 今井）



「教えて！校長先生」④ 校長先生は就労支援のエキスパートです。

ここまで、特別支援学校を卒業した後の制度やサービスについて紹介をしてきました。今回は、社会参加に向けて、学校生活の中で身に付けて欲しいことについてお伝えします。もしかしたら、卒業後に企業や福祉施設で働くために、学校では、パソコン操作の方法や清掃技術などの仕事に関連する技術や知識が必要かと考えられるかもしれませんが、もちろん、与えられる仕事ができるということは大切です。しかし、学校の中では、環境に適応するために必要な、挨拶・報告・連絡・相談ができること、遅刻せずに移動すること、毎日安定して通えること、持病に対する対処ができるなどの生活の基本的なことを、ぜひ身に付けてほしいと考えています。この基本的なことは、仕事を長く続けること、同僚や仲間と楽しく過ごすこと、仕事に関連する技術や知識を十分に発揮するための基盤となることです。卒業後の安心できる社会生活を目指して、このようなことを学ぶことができると考えています。

（校長 前原）

※「教えて！校長先生」は、vol.9 vol.12でお伝えしていきます。

保護者からのQ&A

保護者からのQ&Aのコーナーでは、保護者の皆様からの進路に関する御質問にお答えしていきます！右のQRコードを読み込み、気軽に御質問ください。

